

令和8年度

# 運営に関する計画



大阪市立菊田南小学校



## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題****【安全・安心な教育の推進】**

令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合が81.1%で、肯定的な回答は95.6%であった。意識としては高い水準であるが、否定的な回答をしている4.4%の児童に対する取組や継続した指導が重要である。また、小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は91.8%であった。不登校児童は改善がみられる児童もいるが、新たに不登校になる児童もあり、割合は増加傾向にある。多くの児童が安心・安全に登校できている状況であるが、学級・学年・学校全体で友だちと喜びを味わう活動や成功体験を積み重ねることを通して児童の自尊感情をより高め、「学校は楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を95%以上にしていく。

様々な教育活動や教職員と児童の信頼関係を構築することで、いじめを許さない意識をより高めていくとともに、いじめについてはアンケートや「心の天気」を活用し、早期発見・解消に今後も努めていく。解消率については100%に近づける。不登校児童についても家庭との連携の連続性をより深め、不登校在籍率を毎年、前年度以下に減少【令和7年度3.9%】するようにしていく。

より主体的に行動できる高学年の育成を図りながら、子どもたちの横のつながりと縦のつながりを太くしていくことを意識した教育活動を推進すること、並びに児童一人一人のがんばりを認め、自尊感情を高める取組を継続して行いながら、より安心・安全な学校づくりを実現させていく。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

令和7年度小学校学力経年調査は、国語科や算数科については、概ね前年度以上の結果であった。しかし、課題もあるため、しっかりと検証し、今年度以降の取組を考えていく。学校アンケート「授業の内容がわかる【令和7年度92.2%】」でも、高水準を維持しており、学習規律が確立でき、児童の学習意欲も高まってきている。そのため、授業力向上に向けた研修を重ね、今後も大阪市平均を上回ることができるようにしていく。

令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は前年度以上【令和7年度51.2%】であったが、目標は下回っていた。そのため、主体的・対話的で深い学びの授業、協働的な学びを更に推進できるよう、学校全体での研修を重ねて授業改善を図る。

**【学びを支える教育環境の充実】**

授業日における学習用端末の使用機会を増やしてきた。昨年度は、授業での活用とともに、「心の天気」を日々活用し、児童の見取りの可視化も大切にしてきた。授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、令和7年度末時点は年間授業日の48.6%と前年度以上であったが、目標に達していなかった。【令和6年度15.4%】授業以外の場面での学習者用端末の活用事例を広げることで、さらなる児童の活用割合を増やしていく。

本校において、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間は、大阪市平均と比較すると大幅に上回っている。そこで、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とするよう取組を進める。ワークライフバランスを考えた働き方が必要とされている。

**中期目標【概ね4年以内（令和11年度末まで）に達成をめざす成果目標】**

**【安全・安心な教育の推進】**

- ① 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を毎年、前年度より減少させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ① 小学校学力経年調査における、国語・算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。
- ② 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。  
【令和8年3月時点 本校平均時間（累計）30時間21分】  
※同月時点の校種別の平均時間（累計）は22時間02分
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。  
【平均69.4%（4年80.5%、5年69.7%、6年57.9%）】

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.6%以上にする。  
【令和7年度 平均90.5%、4年92.7%、5年87.9%、6年94.8%】
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
【令和7年度 3.91%】
- ③ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.7%以上にする。  
【令和7年度 平均86.6%、4年87.8%、5年87.8%、6年84.2%】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語・算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。  
【R6→R7 4年：国+0.04P 算+0.29P、5年：国+0.11P 算+0.11P、  
6年：国+0.04P 算+0.06P】

	現4年生		現5年生		現6年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
R6			1.02	0.98	0.91	0.92
R7	1.08	1.15	1.06	1.27	1.02	1.03

- ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を55%以上にする。  
【平均53.4%（4年43.9%、5年24.2%、6年92.1%）】
- ② 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。  
【令和8年3月時点 本校平均時間（累計）30時間21分】  
※同月時点の校種別の平均時間（累計）は22時間02分
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。  
【平均69.4%（4年80.5%、5年69.7%、6年57.9%）】

3 本年度の自己評価結果の総括

**【安全・安心な教育の推進】**

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

**【学びを支える教育環境の充実】**

## 大阪市立菟田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.6%以上にする。 【令和7年度 平均90.5%、4年92.7%、5年87.9%、6年94.8%】</p> <p>② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 【令和7年度 3.91%】</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.7%以上にする。 【令和7年度 平均86.6%、4年87.8%、5年87.8%、6年84.2%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導部会および生活指導全体会で、いじめや虐待に関して気になる児童の実態交流を行い、全教職員で共有していく。</li> <li>「いじめアンケート」の実施や相談機能の活用によるいじめの早期発見の取組を徹底し、いじめを受けた児童の即時救済・対応を行う。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導部会および生活指導全体会で、いじめや虐待に関して気になる児童の実態交流を毎月1回以上行う。</li> <li>いじめアンケートにおいて認知したいじめについて、9割以上解消する。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決支援員やスクールカウンセラー、こどもサポートネット、SSWなどとの連携により、不登校の未然防止や解決を目指す。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭との連携を密にしながら、不登校の解決に取り組み、学校に来ない日が7日続いた場合、家庭訪問を実施し家庭との連携を深める。さらに、課題解決支援員やスクールカウンセラー、こどもサポートネット、SSWなどと連携をとり、不登校の未然防止や、不登校傾向児童の登校日数が昨年度より増えるように働きかける。</li> </ul>	



## 大阪市立菟田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																											
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における、国語・算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>【R6→R7 4年：国+0.04P 算+0.29P、5年：国+0.11P 算+0.11P、6年：国+0.04P 算+0.06P】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">現4年生</th> <th colspan="2">現5年生</th> <th colspan="2">現6年生</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>国語</th> <th>算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td></td> <td>1.02</td> <td>0.98</td> <td>0.91</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>1.08</td> <td>1.15</td> <td>1.06</td> <td>1.27</td> <td>1.02</td> <td>1.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>		現4年生		現5年生		現6年生		国語	算数	国語	算数	国語	算数	R6			1.02	0.98	0.91	0.92	R7	1.08	1.15	1.06	1.27	1.02	1.03	
		現4年生		現5年生		現6年生																						
	国語	算数	国語	算数	国語	算数																						
R6			1.02	0.98	0.91	0.92																						
R7	1.08	1.15	1.06	1.27	1.02	1.03																						

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科および算数科の授業について、言語活動の充実を図るための取組を行う。</li> <li>・既習事項の定着を図る。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活用能力の向上のための具体的方法として、以下の活動を授業内において実践し、読む力や自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする力の向上を図る。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題文に印をつけたり絵図に表したりして、理解する力を高める。</li> <li>② 考えの過程や自分の考えをノート等にメモし、それを基に、友だちと話し合う活動を積極的に行う。</li> </ol> </li> <li>・週に1回以上、国語科および算数科の基礎的な学力向上に向けた問題に取り組む時間を設ける。</li> </ul>	



## 大阪市立菟田南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を55%以上にする。 【平均53.4% (4年43.9%、5年24.2%、6年92.1%)】</p> <p>② 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。 【令和8年3月時点 本校平均時間(累計)30時間21分】 ※同月時点の校種別の平均時間(累計)は22時間02分</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 【平均69.4% (4年80.5%、5年69.7%、6年57.9%)】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを積極的に活用しながら、効果的な実践方法を探求する。</li> <li>「情報活用の実践力」到達目標系統表に合わせた活用を行い、情報活用能力の向上を図る。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員へのICT研修を年3回以上行い、教員のICT活用能力のさらなる向上を図る。</li> <li>週に1回以上の家庭学習での活用やプラットフォームを利用した学校連絡の配信など、家庭でのICT機器の積極的な活用を取り入れる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々で働き方の見直しを図り、教職員の時間外勤務時間を減少させる。</li> <li>学校全体として業務内容の精選・効率化を検討し、教職員の時間外勤務時間を減少させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週の「ゆとりの日」を一人一人が守る努力をし、時間外勤務時間減少に努め、一人当たりの月平均時間外勤務時間を22時間以下にする。</li> <li>文部科学省「全国の学校における働き方改革事例集」や教員へのアンケート調査などをもとに、前期と後期に1度ずつ業務内容の精選・効率化を検討する。</li> </ul>	

